

## 第2回中長期ビジョン策定検討小委員会における 委員からの指摘事項への対応について

発言者	指摘事項	対応
尾崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・不動産をうまく活用できなければ、内需創造型・内需主導型の日本経済の構築はできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国経済の持続的・安定的な成長等にとって、不動産が果たすべき役割が大きいことを記述(P4の )。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的金融・家計の余剰貯蓄等を含め、住宅・不動産を巡る良好な国内資金循環を再構築することが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産ストックの再生等に向けて安定的な資金を確保する必要性等について、記述を充実(P5の 、 P10～11の )。</li> </ul>
竹内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国は豊富な住宅ストックを蓄積してきたが、資産の流動化が促進されず内需寄与度が小さい。既存住宅が適正に評価され、流動化されることが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅ストックの再生・流動化等について、記述を充実(P6～7の )。</li> </ul>
赤井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は、不動産資源大国であり、旧耐震基準の建築物が多いなど内需として都市の再開発ニーズがある。</li> <li>不動産市場については、様々なプレーヤーを含む生態系として、不動産の再生を支えるシステムの枠組みが必要。</li> <li>不動産データベースの導入・インデックスの整備等、情報インフラの整備が必要。</li> <li>我が国のCMBSの平均償還期間は米国と比べ短くなっている。国内外の長期安定的な投資資金を導入するための投資環境の整備が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の不動産をめぐるポテンシャル・課題等について、記述(P5の )。</li> <li>不動産の再生を支えるシステムについて、記述を充実(P11の )。</li> <li>不動産情報の整備提供について、記述を充実(P9の上段の )。</li> <li>中長期の安定的な資金の確保の必要性について、記述を充実(P10～11の )。</li> </ul>
清水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産価格変動の中長期リスクに対応していくために、賃貸不動産市場を整備していくことも必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃貸住宅市場の整備について、記述を追加(P6～7の )。</li> </ul>

肥田野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家戦略として不動産を考えていく必要がある。不動産をどう活用して、我が国の国際的なプレゼンスを高めるかといった観点が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国経済の持続的・安定的な成長等にとって、不動産が果たすべき役割が大きいことを記述(P4の )。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の住宅ストックが流動化せず、十分に活用されていないのには、国民の意識の問題がある。資産価値を確保するためにも、住宅の流動化に向けて国民意識を変えていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の意識改革等について、記述を充実(P6~7の )。</li> </ul>
赤井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本経済の中で不動産をどう位置づけるか、国家戦略が必要である。また、不動産価格の大きな変動に対してどう対応するかということも重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国経済の持続的・安定的な成長等にとって、不動産が果たすべき役割が大きいことを記述(P4の )。</li> <li>急激な地価変動への対応について、記述を充実(P12の下段の )。</li> </ul>
竹内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>リバースモーゲージは未だそれほど普及していない。何らかの公的な支援が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リバースモーゲージについては、その普及促進に向けた環境整備について検討(P6~7の )。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな住環境の形成のため、現行の規制の見直しも検討すべきでないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な居住環境の形成等のため、既存の規制の意義・効果の検証も必要な旨記述(P14の下段の )。</li> </ul>
中城委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>PREについては深掘りが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CRE・PREの普及・促進について、記述を充実(P6の上段の ~ )。</li> </ul>